

SH97 水と色のファンタジー 報告書

実施日時 2025年12月6日(土) 場所 屏風ヶ浦地域CP

スタッフ 今井(主任) 神谷・阿部和・山田・小林珠・尾崎・的野・友田・澤田

会場 和泉・岩田

参加児童 14名 (親子ペア5組) 小2 2名

参観3名

工具・材料 紫キャベツ・酢・ラムネ・乾燥剤・洗剤各種・卵の白身・こんにやく
マドラー・卵パック・スプーン・電池・プラカップ・ろ紙・リトマス試験紙

内容 紫キャベツを煮出した液<植物色素アントシアニン>に身近なものを加えて、色
の変化を見る。

酸性、アルカリ性を発見する。リトマス試験紙で確認

アントシアニン液を浸したろ紙に電気をとおしてみる。

-極、+極のまわりで色が変わり、電気分解の様子を見る。

ファンタジー液の観察

酸とアルカリが作りだすファンタジー液を時間の経過とともに観察する。



アンケート結果

1, 参加した感想はどうでしたか？楽しかった・・・10人 1枚白紙

楽しかった、実験の数が多かったところ

ふつう・・・ゆっくりなところ・・・3人

2, 説明や実験の内容はどうでしたか？ ちょうどよかった・・・8人

やさしかった・・・5人

☆発見したこと、ふしぎに思ったこと

- ・えんぴつがとけたこと・+がわにあわがいっぱいだったこと・電気で絵がかけたこと
- ・緑は下に広がるのに赤は上に広がる、なんでだろう？ファンタジーみたいなどころ

保護者より

- ・子どもがあきないように工夫された内容でよかったです。
- ・変化が見てわかるので楽しかった
- ・実験後も混ぜて、色が変わるのを色々な組み合わせで楽しんでいました。
- ・小5以上でないとう理解が難しそう。
- ・テーブルについて下さった方が先に先にと進める方で考えるスキがなかったように感じた。
- ・少し手を出しすぎな気がした。

振り返り

*リハーサルが当日の始まる前ということでかなり短縮だった。ひとつずつ行う時間がなかったため、手順に不安なアシスタントもいた。また、テキストが足りないという事態も直前であり、子どもたちの確認もできずとても悔いが残った。

アシスタントに伝わっていない不安を私も感じて、ペースもゆっくりになり間延びしていたように感じた。色の変化は見て考えて、楽しむことができた。

リハーサルはとても重要、ペース配分、子どもたちにできることははっきりと伝え進行していくように見直したいと思った。